

府中宿

東海道二峠六宿



久能山東照宮



府中宿を映像で紹介しています！

東海道 府中宿
家康公は久能に眠る
<https://youtu.be/KwICYx9go2Q>



東海道 府中宿
見逃せない浅間神社
<https://youtu.be/nxJ8w94PTu0>



東海道
江尻宿西木戸～府中宿西見附
<https://youtu.be/iyB05cS5-j8>



二峠六宿道旅推進実行委員会

 令和元年度文化芸術振興補助金

駿府城公園 異櫓

我が体は久能に納め、

葬儀は増上寺で行い、

位牌は三河大樹寺、

一周忌後に日光山に勧請せよ

(家康公の遺言です)



駿府城本丸跡



冬でも仮橋を許されなかった安倍川は、
人足による徒歩渡しの川でした

静岡市葵区にある府中宿は東海道19番目の宿場です。ここは駿河国の駿府の町。室町時代から今川氏が治め、京の都にひけをとらない文化が根付いた「東の京」ともいわれていましたが武田信玄により焼き払われました。それを復興したのは徳川家康公です。

東海道府中の見どころ



東海道分間延絵図

1806年、江戸幕府が道中奉行に命じて江戸から大阪間の東海道を詳細に調査し絵図にしています



久能山東照宮 社殿

本殿と拝殿が石の間でつながる豪華な権現づくりは久能山にならって全国の東照宮の建築様式となっています



臨濟寺

今川家の菩提寺で家康公が幼少期に学んだ寺。未公開ですが、義元公の命日と秋に公開されます



駿府城公園

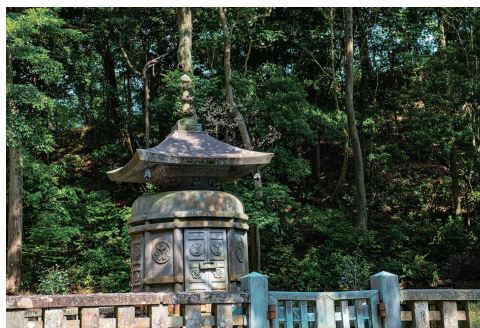
1606年に戻ってきた家康公はここに壮大な城を築き、「大御所政治」を展開しました

この町で8歳から19歳まですごした徳川家康公は、文化人としての教養を今川義元公、武将としての知識と知恵を臨濟寺の僧侶太原雪斎のもとで養いました。家康公の駿府での幼少時代を「人質」といいますが、お供7人と祖母とともにきたことをみると、政務見習いとして「留学」といえるのではないのでしょうか。



久能山東照宮 逆さ葵

完成した後は崩壊が始まる。それを嫌い、あえて未完成にして、永久に残ることを願っています



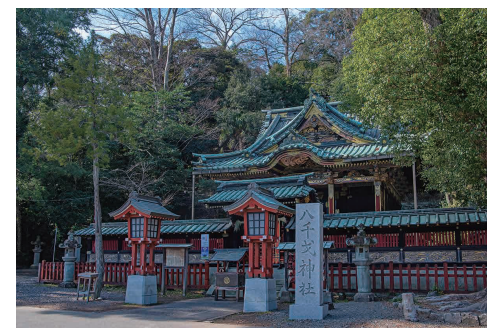
久能山東照宮 神廟

宝塔は亡くなった24年後に約20トン巨石をつかって作られ、柩は地中深くに納められているといわれています



稚児舞

たきょうじ はつかえさい
もとは建穂寺で舞われていた。4月の廿日会祭では、神輿にのって市内を回り静岡浅間神社で奉納されます



静岡浅間神社内 八千戈神社 (やちほこじんじや)

家康公が元服した神社。家康公の念持仏のため造営され、苦難からも道が開く、開運が授けられるといわれています

府中宿

徳川家康公と縁の深い宿場



26棟の建物が国の重要文化財に指定されています

東海道中膝栗毛の作者。
父親は徳川家の家臣

00人を超える腕
茶師がいる町

今川氏輝遺命で建立されたお寺。京都東山の山並みに似ていることからこの名前に。家康公とも縁が深い

康公とともに駿府に
来た祖母の墓があります

石垣の上に柵があり
見付け番もいました

家康公の側室で2代将軍
秀忠の母西郷の局(お愛)

江戸時代には駿府代官屋敷があり、明治に徳川慶喜公が20年以上すんでいた場所です。

駿河三刹の1つ。朝鮮通信使、琉球使節がなどの休憩・宿泊施設にもなった寺。

参勤交代の大名たちは華陽院へ赴き、東海道から久能街道、久能山東照宮を参拝するのが定番だったといわれています。清水(江尻宿)まで行けます。

府中宿／家数3673軒
(本陣2軒、脇本陣2軒、旅籠43軒)、
人口14,071人
出典：1843年東海道宿村大概帳

- 旧東海道
- 情報拠点
- 見どころ
- 案内板・説明板・マップ
- 写真撮影ポイント
- コンビニ

